



平成29年6月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月4日  
東

上場会社名 株式会社アイスタイル 上場取引所  
コード番号 3660 URL <http://www.istyle.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉松 徹郎  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 菅原 敬 (TEL) 03(5575)1260  
定時株主総会開催予定日 平成29年9月27日 配当支払開始予定日 平成29年9月28日  
有価証券報告書提出予定日 平成29年9月28日  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成29年6月期の連結業績(平成28年7月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期	18,888	32.2	1,465	△16.3	1,299	△21.6	1,076	△15.5
28年6月期	14,282	47.8	1,751	174.6	1,657	156.1	1,274	263.5

(注) 包括利益 29年6月期 1,409百万円(18.1%) 28年6月期 1,192百万円(167.5%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
29年6月期	18.51	17.79	13.1	9.3	7.8
28年6月期	22.10	21.16	25.3	20.0	12.3

(参考) 持分法投資損益 29年6月期 △111百万円 28年6月期 △44百万円

(注) 当社は、平成27年10月1日付、平成28年2月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年6月期	18,141	11,013	59.4	170.61
28年6月期	9,663	5,690	58.4	97.60

(参考) 自己資本 29年6月期 10,772百万円 28年6月期 5,643百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
29年6月期	637	△3,271	5,505	6,169
28年6月期	1,001	△1,343	1,145	3,321

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
28年6月期	—	0.00	—	0.50	0.50	29	2.3	0.6
29年6月期	—	0.00	—	0.50	0.50	32	2.7	0.4
30年6月期(予想)	—	0.00	—	0.50	0.50		2.7	

(注) 29年6月期期末配当金の内訳 普通配当 0円50銭

3. 平成30年6月期の連結業績予想(平成29年7月1日～平成30年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	26,600	40.8	2,000	36.5	1,900	46.3	1,150	6.9	18.20

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 -社（社名）- 、除外 -社（社名）-

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年6月期	65,852,400株	28年6月期	60,528,400株
② 期末自己株式数	29年6月期	2,709,806株	28年6月期	2,709,740株
③ 期中平均株式数	29年6月期	58,131,206株	28年6月期	57,628,497株

(注) 当社は、平成27年10月1日付、平成28年2月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「発行済株式数(普通株式)」を算定しております。

(参考) 個別業績の概要

1. 平成29年6月期の個別業績（平成28年7月1日～平成29年6月30日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期	5,188	13.4	722	△9.9	794	△1.9	748	40.4
28年6月期	4,577	17.7	802	174.2	809	142.4	533	198.5
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
29年6月期	12.86		12.36					
28年6月期	9.24		8.85					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
29年6月期	14,834		8,999		60.2		141.33	
28年6月期	7,728		4,757		61.1		81.60	

(参考) 自己資本 29年6月期 8,924百万円 28年6月期 4,718百万円

※ 決算短信は監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料5ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

・当社は、平成29年8月4日にアナリスト及び機関投資家向けの決算説明会を開催する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	4
(4) 今後の見通し .....	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(会計方針の変更) .....	13
(会計上の見積りの変更) .....	13
(セグメント情報等) .....	13
(1株当たり情報) .....	15
(重要な後発事象) .....	15

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当期の経営成績の概況

当社グループは平成28年8月3日発表の中期経営計画に基づき、当連結会計年度を可能性を拡大するフェーズと定め、事業領域の拡大と組織の構築に注力しております。期初より各セグメントにおいて投資を強化しており、第1四半期には人員増に備えた本社増床を行いました。また、後述の通り、海外の美容に関する事業を展開する企業3社の株式を取得し子会社化することを決定しており、当該株式等の取得資金および取得資金のために借り入れた資金の返済に充当するため、6月に海外募集による新株式の発行を行っており、約36億円の資金調達を実施いたしました。

以上の結果、当連結会計年度（平成28年7月1日～平成29年6月30日）の業績は次の通りとなりました。

売上高	18,888百万円（前年同期比 32.2%増）
営業利益	1,465百万円（前年同期比 16.3%減）
経常利益	1,299百万円（前年同期比 21.6%減）
税金等調整前当期純利益	1,635百万円（前年同期比 10.7%減）*
親会社株主に帰属する当期純利益	1,076百万円（前年同期比 15.5%減）*

※当第3四半期連結会計期間において、投資有価証券の売却益として特別利益283百万円を計上しております。

前第1四半期連結会計期間において、海外子会社の売却益として特別利益177百万円を計上しております。

各セグメントの業績につきましては、以下のとおりです。なお、当連結会計年度より報告区分のセグメントを変更しており、以下の前年同期比較については前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。詳細につきましては、「3. 連結財務諸表及び主な注記（5）連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）」の「5 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

## ①On Platform事業

当セグメントには、当社が運営する美容系総合ポータルサイト「@cosme（アットコスメ）」を基盤とした各種サービスが属しており、広告をはじめとするBtoBサービスと一般ユーザー向けのBtoCサービス双方を展開しております。

当連結会計年度におきましては、「@cosme」のブランディング広告やバナー広告、BtoB課金などのBtoBサービスが成長しました。BtoCサービスにおきましては、プレミアム会員のプロモーションを抑制している中においても堅調に推移いたしました。

また、当連結会計年度においては、サービス企画・開発体制の一本化による効率的な運営体制の構築を目的として、サロン向けの事業を展開する株式会社アイスタイルビューティソリューションズを吸収合併することを決定（効力発生日は平成29年7月1日）したほか、化粧品メーカー以外のクライアントの開拓やスマートフォン向けアプリの全面リニューアルを6月に実施するなど、中長期を見据えた施策を実施いたしました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は以下のとおりとなりました。

売上高	6,840百万円（前年同期比 16.8%増）
セグメント利益	2,551百万円（前年同期比 20.0%増）

## ②Beauty Service事業

当セグメントには、国内における化粧品ECサイトの運営、化粧品専門店「@cosme store」の運営や、プライベートブランドの企画・開発・販売が属しております。

ECにおきましては、ポイントやクーポンを活用したキャンペーンの実施や取扱商品の強化などにより、売上が好調に推移いたしました。

国内の店舗におきましては、当第4四半期連結会計期間において、4月に中京地区初出店となる「名古屋タカシマヤ ゲートタワーモール店」をオープンいたしました。それにより、店舗数は期初から13店舗増（M&Aにより取得した4店舗含む）の24店舗となりました。

またプライベートブランド「@cosme nippon」におきましては、4月に第2弾となる商品「阿蘇の馬のたてがみ

油」を使用したハンドケアシリーズとして、「ハンドウォッシュ」や「ハンドローション」、「ハンド&ネイル美容液」の3商品を発売いたしました。プライベートブランドは、当社グループの国内外のECサイトや店舗での販売の他、日本や中国、米国での卸売も実施しております。

一方、各事業の成長により売上は大きく増加しておりますが、新規出店に伴うコスト増や新規事業への取り組みにより、費用も増加しております。

以上の結果、当連結会計年度の業績は以下のとおりとなりました。

売上高	8,784百万円（前年同期比 49.7%増）
セグメント利益	229百万円（前年同期比 48.4%減）

### ③Global事業

当セグメントには、日本国外で展開するサービスが属しております。

中国における越境ECにつきましては、出店しているECサイト1社において物流方法が変更となり、その対応のため通年で3.5ヶ月間ほど販売を休止いたしました。他のチャネルの売上が伸長したことにより増収となりました。

また、当第4四半期連結会計期間においては初の海外店舗を台湾にオープンしております。海外1号店となる微風広場台北駅店を5月に台北駅舎内にオープンし、6月には台北の微風信義店と台中の勤美誠品店をオープンいたしました。

その他、美容に関する事業を展開する企業3社<sup>※1</sup>の株式を取得し子会社化することを決定いたしました。これは、中長期を見据え、当社が保有している「商品データ」や「クチコミデータ」、「ユーザーデータ」などの美容に関するさまざまな情報と各社が保有するデータを統合し、世界中の美容に関する情報を集約したGlobal One Databaseの構築等を目的としたものです。また、これによりM&A関連費用を計上しております。

以上の結果、当連結会計年度の業績は以下のとおりとなりました。

なお、当連結会計年度の期中平均為替レートは1香港ドル14.05円（前期比1.01円の円高）です。

売上高	2,959百万円（前年同期比 18.9%増）
セグメント利益	133百万円（前年同期比 50.9%減）

#### ※1 下記の3社

- ・Hermo Creative (M) Sdn. Bhd.（マレーシアで化粧品ECサイト「Hermo」を運営）※2
- ・i-TRUE Communications Inc.（台湾で美容系総合ポータルサイト「UrCosme」を運営）※2
- ・MUA Inc.（米国で美容系総合ポータルサイト「MakeupAlley」を運営）※3

※2 平成29年6月期末においてBSを連結しており、平成30年6月期の第1四半期よりPLを連結

※3 平成30年6月期第1四半期よりBS、PLを連結。

### ④その他事業

当セグメントには、美容部員等を派遣する人材派遣事業と、創業間もない企業も含め幅広い成長ステージの企業に投資する投資育成事業が属しております。

当連結会計年度におきましては、人材派遣事業が着実に成長し、増収となりました。また、投資育成事業における一部の営業投資有価証券において引当金を計上しておりましたが、当第2四半期連結会計期間に31百万円の戻し入れを行っております。

以上の結果、当連結会計年度の業績は以下のとおりとなりました。

売上高	304百万円（前年同期比 340.0%増）
セグメント利益	39百万円（前年同期 セグメント損失 91百万円）

## (2) 当期の財政状態の概況

### ①資産、負債及び純資産の状況

#### (資産)

当連結会計年度末における資産の額は、前連結会計年度末に比べ8,477百万円増加し18,141百万円となりました。

これは主に、流動資産において、現金及び預金2,849百万円、受取手形及び売掛金690百万円、商品863百万円、営業投資有価証券885百万円、並びに固定資産において、ソフトウェア440百万円、のれん2,002百万円等が増加したことによるものであります。

#### (負債)

当連結会計年度末における負債の額は、前連結会計年度末に比べ3,153百万円増加し7,127百万円となりました。

これは主に、流動負債において、買掛金733百万円、1年内返済予定の長期借入金571百万円、並びに固定負債において、長期借入金1,344百万円等が増加したことによるものであります。

#### (純資産)

当連結会計年度末における純資産の額は、前連結会計年度末に比べ5,324百万円増加し、11,013百万円となりました。

これは主に、海外募集による新株式発行等により資本金1,874百万円、資本剰余金1,874百万円が増加、並びに利益剰余金1,052百万円、その他有価証券評価差額金297百万円が増加したこと等によるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は、前連結会計年度末に比べ2,849百万円増加し、残高は6,169百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況と要因は以下の通りであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において営業活動の結果得られた資金は、637百万円(前年同期は1,001百万円の収入)であります。

この主な要因は、法人税等の支払額750百万円等があったものの、税金等調整前当期純利益の計上1,635百万円等があったことによるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において投資活動の結果使用された資金は、3,271百万円(前年同期は1,343百万円の支出)であります。

この主な要因は、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出2,024百万円、無形固定資産の取得による支出768百万円、貸付けによる支出517百万円等があったことによるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において財務活動の結果得られた資金は、5,505百万円(前年同期は1,145百万円の収入)であります。

この主な要因は、長期借入金の返済による支出1,182百万円等があったものの、長期借入れによる収入3,040百万円、株式の発行による収入3,731百万円等があったことによるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成25年6月期	平成26年6月期	平成27年6月期	平成28年6月期	平成29年6月期
自己資本比率 (%)	71.6	73.1	64.2	58.4	59.4
時価ベースの自己資本比率 (%)	168.2	106.6	240.2	436.2	309.1
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	141.0	125.0	106.0	205.1	615.0
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	107.0	116.9	143.8	252.3	95.3

(注) 1. いずれも連結ベースの財務数値により計算しています。

(注) 2. 株式時価総額は、期末株式終値×期末発行済株式総数（自己株式数を除く）により算出しております。

(注) 3. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。

(注) 4. 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としています。

#### (4) 今後の見通し

平成29年6月期に引き続き、中期経営計画の達成に向けて事業投資を行ってまいります。

なお、平成29年6月期に子会社化を決定した、海外で美容関連の事業を推進する企業3社<sup>※1</sup>のPLを平成30年6月期第1四半期連結会計期間より連結いたします。当該企業3社の連結に伴い、3社に対するのれんの償却（年間償却額約3.5億円）を開始いたします。

また、平成30年6月期の連結業績予想は、営業投資有価証券の売却を見込んでおり、当該売却による影響額は、その他の事業において、セグメント利益 約3.5億円を予定しております。

その他、既存事業の成長もあり、平成30年6月期連結業績予想は下記の通りとなります。

##### <平成30年6月期連結業績予想>

売上高：	26,600百万円	(前年同期比較 40.8%増)
営業利益：	2,000百万円	(前年同期比較 36.5%増)
経常利益：	1,900百万円	(前年同期比較 46.3%増)
親会社株主に帰属する当期純利益：	1,150百万円	(前年同期比較 6.9%増)

※1 Hermo Creative(M)Sdn. Bhd.、i-TRUE Communications Inc.、MUA Inc.

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては、外国人株主比率の推移及び国内の同業他社の国際会計基準の適用動向等を踏まえ、国際会計基準の適用について検討を進めていく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当連結会計年度 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,321	6,169
受取手形及び売掛金	1,592	2,282
商品	722	1,584
営業投資有価証券	744	1,629
短期貸付金	3	407
繰延税金資産	71	166
その他	392	343
貸倒引当金	△42	△13
流動資産合計	6,802	12,567
固定資産		
有形固定資産		
建物	458	827
減価償却累計額	△145	△152
建物（純額）	313	675
その他	230	326
減価償却累計額	△135	△177
その他（純額）	95	149
有形固定資産合計	409	824
無形固定資産		
のれん	133	2,135
ソフトウェア	739	1,180
その他	71	116
無形固定資産合計	943	3,431
投資その他の資産		
投資有価証券	944	471
繰延税金資産	34	98
その他	531	751
投資その他の資産合計	1,510	1,320
固定資産合計	2,862	5,574
資産合計	9,663	18,141



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当連結会計年度 (平成29年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	525	1,258
短期借入金	50	-
1年内返済予定の長期借入金	591	1,162
未払金	331	440
未払法人税等	457	326
賞与引当金	156	173
繰延税金負債	-	258
その他	441	738
流動負債合計	2,553	4,356
固定負債		
長期借入金	1,412	2,756
その他	9	16
固定負債合計	1,420	2,772
負債合計	3,974	7,127
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,609	3,482
資本剰余金	1,543	3,417
利益剰余金	2,482	3,535
自己株式	△281	△281
株主資本合計	5,353	10,153
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	249	546
為替換算調整勘定	41	74
その他の包括利益累計額合計	290	620
新株予約権	39	75
非支配株主持分	7	165
純資産合計	5,690	11,013
負債純資産合計	9,663	18,141

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 平成27年7月1日 至 平成28年6月30日)	当連結会計年度 (自 平成28年7月1日 至 平成29年6月30日)
売上高	14,282	18,888
売上原価	6,106	8,852
売上総利益	8,176	10,036
販売費及び一般管理費	6,426	8,571
営業利益	1,751	1,465
営業外収益		
受取利息	1	3
業務受託料	0	-
投資事業組合運用益	1	10
助成金収入	4	-
違約金収入	5	-
還付消費税等	-	5
その他	3	9
営業外収益合計	14	28
営業外費用		
支払利息	7	15
為替差損	52	24
株式交付費	-	32
持分法による投資損失	44	111
その他	4	12
営業外費用合計	107	194
経常利益	1,657	1,299
特別利益		
関係会社株式売却益	177	-
投資有価証券売却益	-	283
持分変動利益	-	88
特別利益合計	177	372
特別損失		
減損損失	-	32
投資有価証券評価損	3	2
その他	1	2
特別損失合計	3	36
税金等調整前当期純利益	1,831	1,635
法人税、住民税及び事業税	569	580
法人税等調整額	△16	△24
法人税等合計	554	556
当期純利益	1,277	1,079
非支配株主に帰属する当期純利益	3	3
親会社株主に帰属する当期純利益	1,274	1,076

## 連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成27年7月1日 至 平成28年6月30日)	当連結会計年度 (自 平成28年7月1日 至 平成29年6月30日)
当期純利益	1,277	1,079
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10	225
為替換算調整勘定	△75	33
持分法適用会社に対する持分相当額	—	71
その他の包括利益合計	△85	329
包括利益	1,192	1,409
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,189	1,405
非支配株主に係る包括利益	3	3

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 平成27年7月1日 至 平成28年6月30日)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	1,591	1,528	1,235	△284	4,071	259	116	375	20	-	4,465
会計方針の変更による累積的影響額		△20	2		△17						△17
会計方針の変更を反映した当期首残高	1,591	1,508	1,237	△284	4,053	259	116	375	20	-	4,448
当期変動額											
新株の発行	17	17			35						35
剰余金の配当			△29		△29						△29
親会社株主に帰属する当期純利益			1,274		1,274						1,274
自己株式の取得				△0	△0						△0
自己株式の処分		17		3	20						20
連結子会社の決算期変更に伴う増減					-						-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					-	△10	△75	△85	19	7	△58
当期変動額合計	17	35	1,245	2	1,300	△10	△75	△85	19	7	1,242
当期末残高	1,609	1,543	2,482	△281	5,353	249	41	290	39	7	5,690

当連結会計年度(自 平成28年7月1日 至 平成29年6月30日)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	1,609	1,543	2,482	△281	5,353	249	41	290	39	7	5,690
会計方針の変更による累積的影響額											-
会計方針の変更を反映した当期首残高	1,609	1,543	2,482	△281	5,353	249	41	290	39	7	5,690
当期変動額											
新株の発行	1,874	1,874			3,748						3,748
剰余金の配当			△29		△29						△29
親会社株主に帰属する当期純利益			1,076		1,076						1,076
自己株式の取得				△0	△0						△0
自己株式の処分					-						-
連結子会社の決算期変更に伴う増減			5		5						5
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					-	297	33	329	36	158	524
当期変動額合計	1,874	1,874	1,052	△0	4,800	297	33	329	36	158	5,324
当期末残高	3,482	3,417	3,535	△281	10,153	546	74	620	75	165	11,013

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成27年7月1日 至 平成28年6月30日)	当連結会計年度 (自 平成28年7月1日 至 平成29年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	1,831	1,635
減価償却費	552	438
のれん償却額	36	59
減損損失	—	32
株式交付費	—	32
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3	△31
賞与引当金の増減額 (△は減少)	82	9
関係会社株式売却損益 (△は益)	△177	—
持分法による投資損益 (△は益)	44	111
受取利息	△1	△3
支払利息	7	15
為替差損益 (△は益)	—	11
投資事業組合運用損益 (△は益)	△1	△10
投資有価証券評価損益 (△は益)	3	2
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△283
持分変動損益 (△は益)	—	△88
売上債権の増減額 (△は増加)	△368	△538
営業投資有価証券の増減額 (△は増加)	△348	△239
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△328	△559
仕入債務の増減額 (△は減少)	45	532
未払金の増減額 (△は減少)	△69	12
その他	△42	262
小計	1,264	1,400
利息及び配当金の受取額	1	3
利息の支払額	△7	△16
法人税等の支払額	△256	△750
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,001	637
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△463	△11
有形固定資産の取得による支出	△137	△423
無形固定資産の取得による支出	△599	△768
差入保証金の差入による支出	△210	△107
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△39	△2,024
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	144	—
貸付けによる支出	△27	△517
事業譲受による支出	△45	△3
投資有価証券の売却による収入	—	634
その他	34	△51
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,343	△3,271

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成27年7月1日 至 平成28年6月30日)	当連結会計年度 (自 平成28年7月1日 至 平成29年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	50	△50
長期借入れによる収入	1,520	3,040
長期借入金の返済による支出	△433	△1,182
株式の発行による収入	30	3,731
新株予約権の発行による収入	6	—
配当金の支払額	△29	△29
自己株式の取得による支出	△0	△0
その他	—	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,145	5,505
現金及び現金同等物に係る換算差額	△49	△9
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	755	2,863
現金及び現金同等物の期首残高	2,566	3,321
連結子会社の決算期の変更による現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	△14
現金及び現金同等物の期末残高	3,321	6,169

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

## 1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループの主な事業は化粧品関連事業であり、化粧品に関するクチコミサイト及び当該サイトを軸にしたOn Platform事業、Beauty Service事業、Global事業、その他事業を展開しております。したがって、当社グループは提供サービス及び取扱商品の区分により「On Platform事業」、「Beauty Service事業」、「Global事業」、「その他事業」の4つを報告セグメントとしております。

On Platform事業には、国内外でのマーケティング事業、プレミアム会員向けサービス等が属しております。

Beauty Service事業には、国内における化粧品ECサイトの運営、化粧品専門店「@cosme store」の運営等が属しております。

Global事業には、日本国外で展開するサービスが属しております。

その他事業には、美容部員等を派遣する人材派遣事業と、創業間もない企業も含め幅広い成長ステージの企業に投資する投資育成事業が属しております。

## 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計基準に準拠した方法であります。

## 3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 平成27年7月1日 至 平成28年6月30日)

	報告セグメント					調整額 (百万円)	連結損益計 算書計上額 (百万円)
	On Platform 事業 (百万円)	Beauty Service事業 (百万円)	Global事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	合計 (百万円)		
売上高							
外部顧客への売上高	5,854	5,870	2,489	69	14,282	—	14,282
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4	8	28	7	47	△47	—
計	5,858	5,878	2,517	77	14,329	△47	14,282
セグメント利益又は損失 (△)	2,126	444	271	△91	2,749	△999	1,751
セグメント資産	2,182	2,181	1,037	918	6,318	3,346	9,663
その他項目							
減価償却費	451	59	10	—	520	33	552
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	561	141	14	—	716	19	735

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△999百万円は、セグメント間取引消去13百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,012百万円であります。
2. セグメント資産の調整額3,346百万円は、セグメント間取引消去△1,026百万円及び各報告セグメントに配分していない全社資産4,372百万円であります。
3. 減価償却費の調整額33百万円は、各報告セグメントに帰属しない管理部門に係るものであります。
4. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額19百万円は、報告セグメントに配分していない全社資産に係るものであります。
5. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 平成28年7月1日 至 平成29年6月30日)

	報告セグメント					調整額 (百万円)	連結損益計 算書計上額 (百万円)
	On Platform 事業 (百万円)	Beauty Service事業 (百万円)	Global事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	合計 (百万円)		
売上高							
外部顧客への売上高	6,840	8,784	2,959	304	18,888	—	18,888
セグメント間の内部 売上高又は振替高	20	5	66	25	117	△117	—
計	6,860	8,789	3,026	330	19,004	△117	18,888
セグメント利益	2,551	229	133	39	2,952	△1,487	1,465
セグメント資産	2,816	3,556	5,278	1,765	13,415	4,726	18,141
その他項目							
減価償却費	311	75	8	—	395	43	438
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	701	331	42	—	1,074	159	1,233

- (注) 1. セグメント利益の調整額△1,487百万円は、セグメント間取引消去19百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,506百万円であります。
2. セグメント資産の調整額4,726百万円は、セグメント間取引消去△3,904百万円及び各報告セグメントに配分していない全社資産8,630百万円であります。
3. 減価償却費の調整額43百万円は、各報告セグメントに帰属しない管理部門に係るものであります。
4. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額159百万円は、報告セグメントに配分していない全社資産に係るものであります。
5. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

#### 4 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当連結会計年度において、「On Platform事業」に係るのれんについて、一部の事業を休止するため、32百万円の減損損失を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

当連結会計年度において株式会社Eat Smartの株式取得を行い、新たに連結子会社としたことにより「On Platform事業」セグメントにおいてのれんが77百万円増加しております。

当連結会計年度においてi-TRUE Communications Inc.の株式取得を行い、新たに連結子会社としたことにより「Global事業」セグメントにおいてのれんが566百万円増加しております。

当連結会計年度においてHermo Creative(M)Sdn. Bhd.の株式取得を行い、新たに連結子会社としたことにより「Global事業」セグメントにおいてのれんが1,441百万円増加しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。



## 5 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、経営管理区分を見直し、経営情報をより適切に表示するために、当連結会計年度より報告セグメントを従来の「マーケティング事業」、「小売事業」、「美容事業支援事業」及び「投資育成事業」の4区分から、「On Platform事業」、「Beauty Service事業」、「Global事業」及び「その他事業」の4区分に変更しております。

なお、前連結会計年度のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

## (1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 平成27年7月1日 至 平成28年6月30日)	当連結会計年度 (自 平成28年7月1日 至 平成29年6月30日)
1株当たり純資産額	97.60円	170.61円
1株当たり当期純利益金額	22.10円	18.51円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益金額	21.16円	17.79円

(注) 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎

項目	前連結会計年度 (自 平成27年7月1日 至 平成28年6月30日)	当連結会計年度 (自 平成28年7月1日 至 平成29年6月30日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	1,274	1,076
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	1,274	1,076
普通株式の期中平均株式数(株)	57,628,497	58,131,206
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(百万円)	—	—
普通株式増加数(株)	2,581,177	2,351,040
(うち新株予約権)(株)	(2,581,177)	(2,351,040)
(うち新株引受権)(株)	—	—
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式の 概要	新株予約権 4銘柄 潜在株式の数 11,962,000株	新株予約権 6銘柄 潜在株式の数 11,984,000株

(注) 当社は、平成27年10月1日付、平成28年2月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額を算定しております。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。